

手素 (研究 1876 2月
対応 1879 4月)

7月12日 / 18790921

2月10日
① 安全

補給品等の支給状況
ヒアリング
組内での対応状況

280名 (105名)
(2名) 欠
10月 (100名) の報告
280名 (100名) の報告
10月 23日 17時
27日 17時 到着
↓ 280名
30日 17時 到着
以下 17時 27日
12 (17時 - 7)
93 (17時 - 1)
17日 17時 到着 (17時 - 1)
17日 17時 到着
(17日 17時 到着)
17日 17時 到着
17日 17時 到着
17日 17時 到着
17日 17時 到着

17日 17時

180 (17時) 280名
17日 17時 到着
17日 17時 到着



イラク復興支援群活動報告

18.6.21

イラク復興支援群

17日
17日 ~ 17日
17日 ~ 17日

17日
17日 ~ 17日
17日 ~ 17日

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 日 (18年6月21日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具異状なし
- 整備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連

◆ 医療

- ムサンナ県技師に対する指導者養成教育(宿营地)
- 別紙第1「ムサンナ県技師に対する指導者養成教育」
- 外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

- ・ 学校の改修：
 - 2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業
- ・ 道路の改修：
 - 3カ所(サマーワ×3)での役務作業
- ・ PHCの改修：
 - 3カ所(サマーワ×3)での役務作業
- ・ 給水関連施設の改修：
 - 7カ所(サマーワ×2、ヒドル、ワルカ×2、ルメイサ×2、ルメイサ-サマーワ間)での役務作業
- ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 2カ所(サマーワ、ヒドル)での役務作業

全 日 (18年6月21日)

○ 撤収業務関連

- ・ 本日の活動
- 後送物品のコンテナ詰め
- ・ 明日の予定
- 後送物品のコンテナ詰め

○ 宿营地関連施設の整備

- ・ 宿营地散水
- ・ ゴミ回収
- ・ 尿尿汲み取り
- ・ 冷蔵・冷蔵コンテナメンテナンス
- ・ コンテナ整理
- ・ 環境維持作業
- ・ コンテナスキャナー点検・整備

○ 6月21日現在の雇用人員

計452名(累計:477, 988名)※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

- ・ 隊長が、防衛記者会に対する記者会見を実施(宿营地)
- 別紙第1「隊長、防衛記者会に対する記者会見」
- ・ 業支隊長が、ムサンナ県知事と会談(県知事公邸)
- ・ 業支隊長が、ムサンナ県復興建設委員長([REDACTED])と会談(宿营地)
- 別紙第2「業支隊長、ムサンナ県復興建設委員長([REDACTED])と会談」
- ・ 供与RO浄水機により給水車延べ18両に対し約252t(約56,000人分)が配水された。
- 6月21日まで計約78,232t(約17,384,888人分)配水(4.5t/人・日換算)

↑ 現地で電取が完了
日本版は7月20日
ZPAPDの報告
撤収が2カ所
ZPAPDの報告
Hの報告
certは3日後
(先方にZPAPDの報告を20日までに?)

全 日 (10年6月21日)

◎ クウェート(クウェート分遣班、後送業務隊)

- ・本邦後送品後送準備
- ・ナビスタ国境通過支援
- ・キャンプバージニアにおける物品管理
- ・会計交替検査
- ・業務調整
- ・6次業務隊先要員のクウェート出国支援
- ・撤収関連業務
 - RSU主力受入準備
 - 後送作業場等の整備

◎ バクダッドLO

- ・連絡調整及び情報収集

◎ バスラLO

- ・情報要求対応及び定例情報収集
- ・定例会議出席
- ・空路輸送調整

◎ スミッティLO

- ・情報要求対応等
- ・各種業務調整等
- ・各種ミーティング等

◎ クウェート大使館LO

- ・連絡調整及び情報収集

後送等業務進捗状況(サマリー)

区分	計 画		実 績 (d)	進捗度		残数	備考
	総 数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)		
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)	60,122	2,556	1,080 【1,080】	1.8%	42.3%	59,042	
後送	コンテナ	337	0 【0】	0%	0%	337	7727C, 247A1
	車両	203	0 【0】	0%	0%	203	

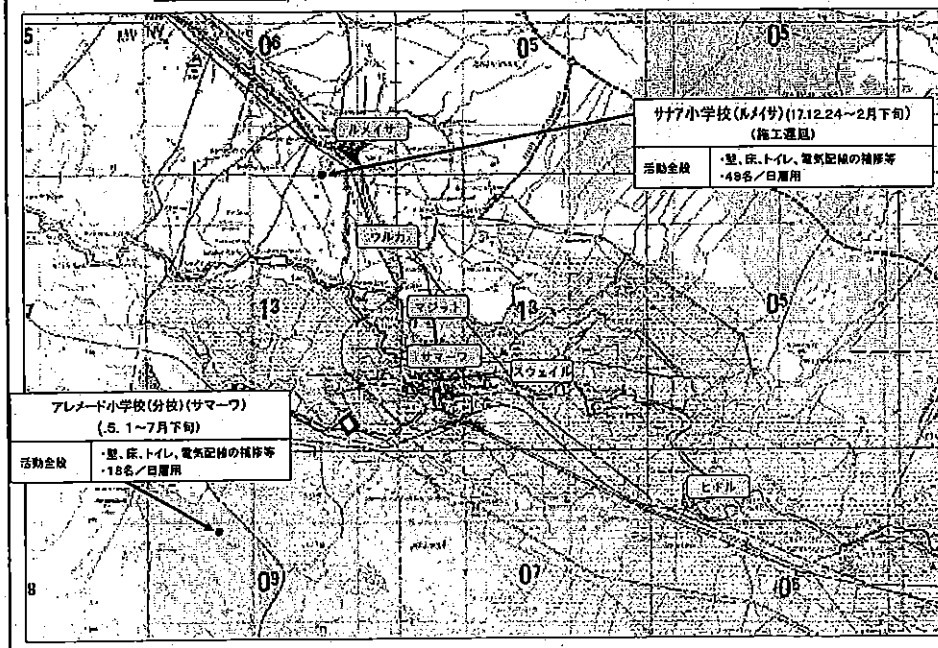
【 】内は、6月21日分の実績を示す。

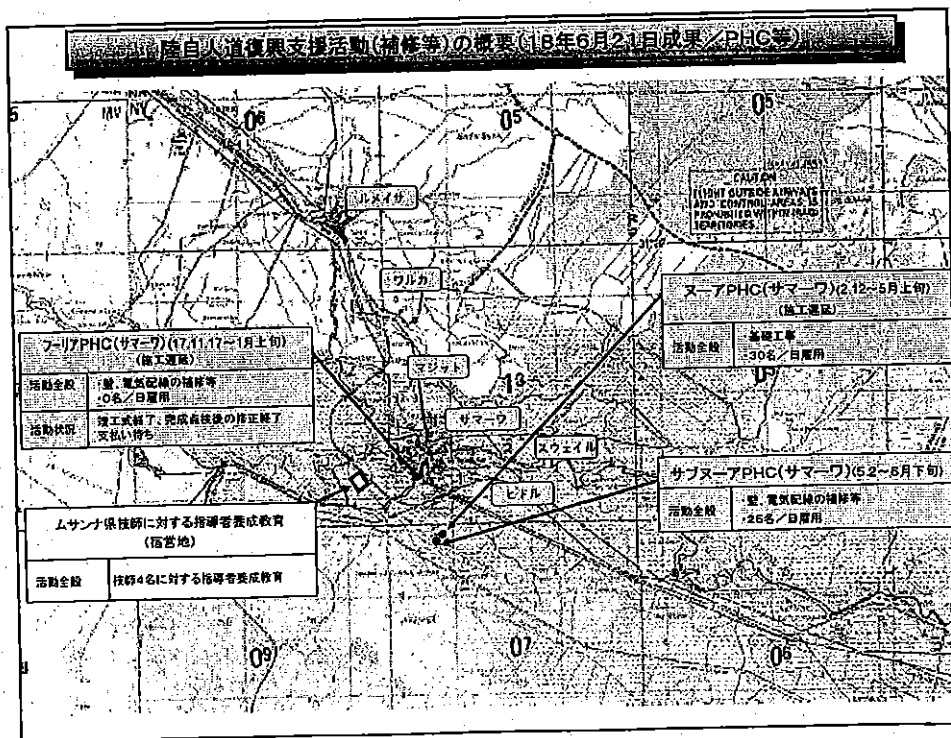
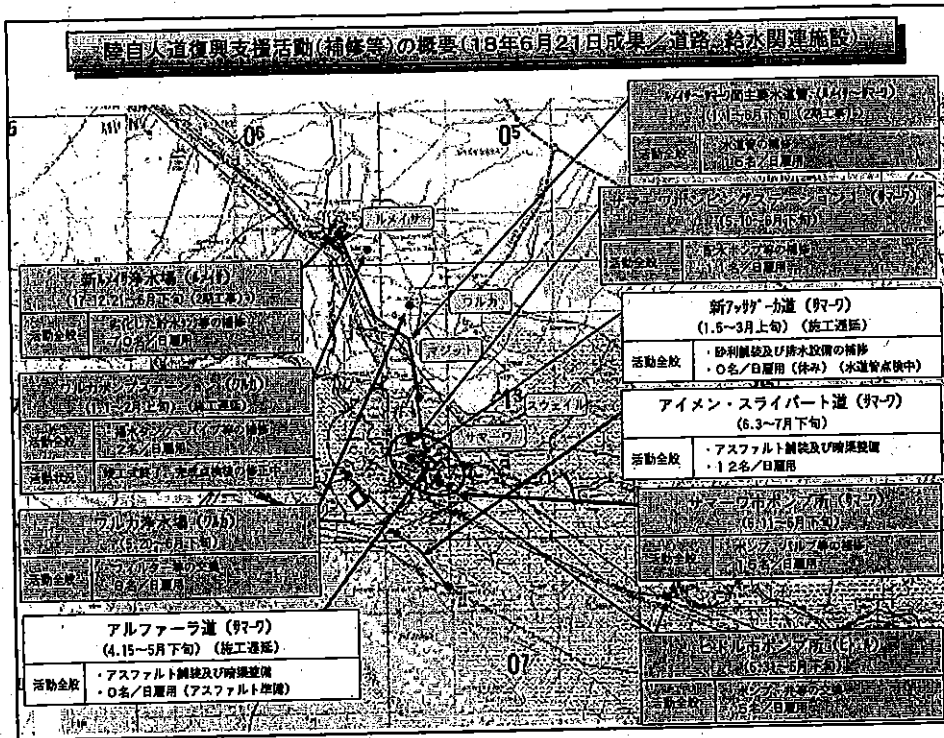
日用者 (19年6月21日)

別表

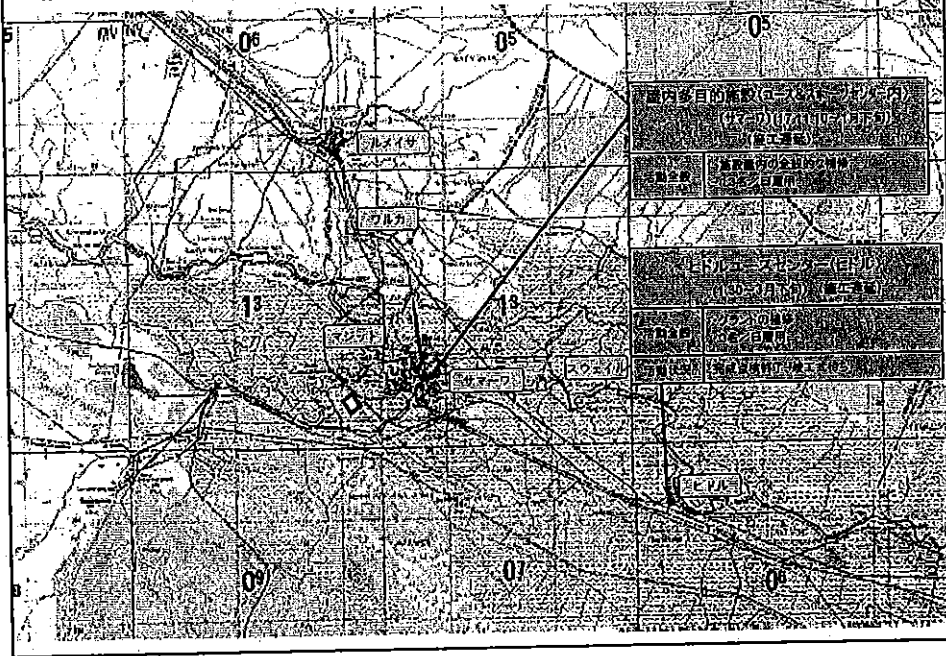
区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)	
宿営地外役務	医療	55	270	452
	学校修復	66		
	道路補修	12		
	青年・スポーツ・女性	13		
	給水関連	124		
宿営地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
コンテナメンテナンス	5			

日用者支援活動(補修等)の概要(19年6月21日成果/学校)





陸自派遣支援活動(補修務)の概要(18年6月21日成果(青年、女性、福祉、清掃事業等))



上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

区分	サマー		クウェート		バグダッド		バスラ		タジキスタン		マリ		合計		国内		(備考) 増減の増化及び 増減人員の変化	
	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員	所定人員	増減人員		
10次支援隊	481	0	481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481	0	0	
10次要務派遣隊	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	
派遣支援隊 5次要員	109	74	77	25	24	5	5	4	4	1	1	0	0	2	111	2	2	(SW) 石炭燃費係要員 KV/出国
派遣要員	105	10	12	05	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	87	
合計	705	575	580	120	30	5	5	4	4	1	1	0	0	2	620	2	89	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む

本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 31名 232分(10次群TV電話合計:0名、FOMA合計:907名)

77名
1720名
2060(4名)

装備の現況（車両等）

項 目	車 両																計				
	小 型	中 型	救 急	軽 甲	高 機	W A P C	業 4	マイ ク ロ	施 設	水 タ ン ク 車	燃 料 タ ン ク	冷 凍 車	セ ミ ト レ	大 型	特 大	浄 水 セ ット		重 レ ッ カ	溶 接 車	修 理 車	
IQ	サマーワ	12	10	2	51	19	6		1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	177
	シャイバ																				
	バスラ					1															1
	タリル																				
	バクダット																				
	計	12	10	2	51	20	6		1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	178
KW	キャンプVA	2			10	1	1	2	1		1	1	1	2	14	1	1				38
	キャンプアリアジャン																				
	計	2			10	1	1	2	1		1	1	1	2	14	1	1				38
総 計	14	10	2	61	21	7	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	216	

装備の現況（武器）

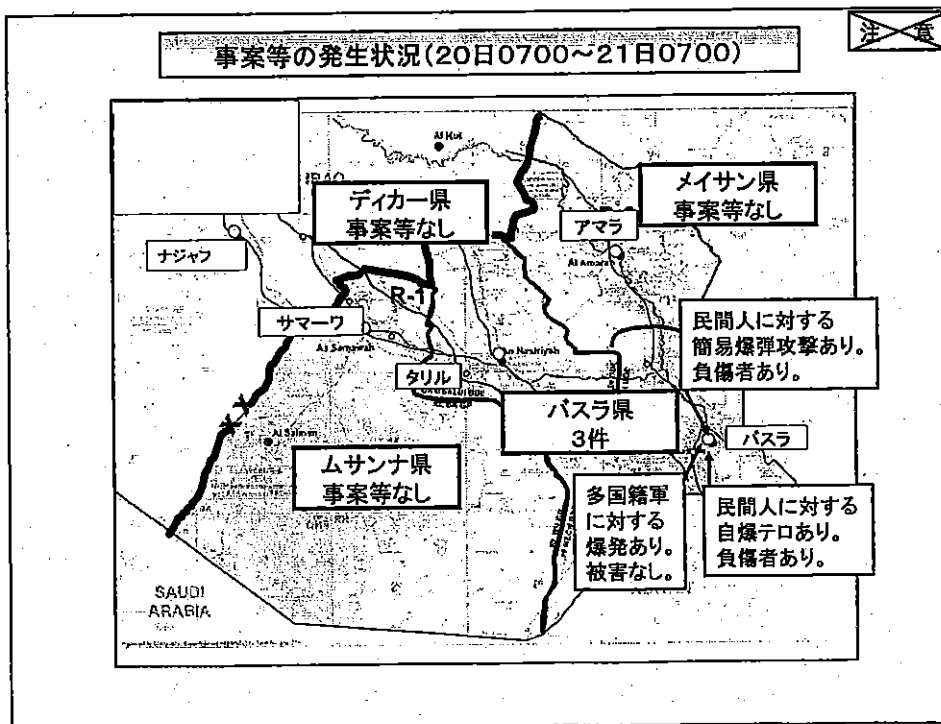
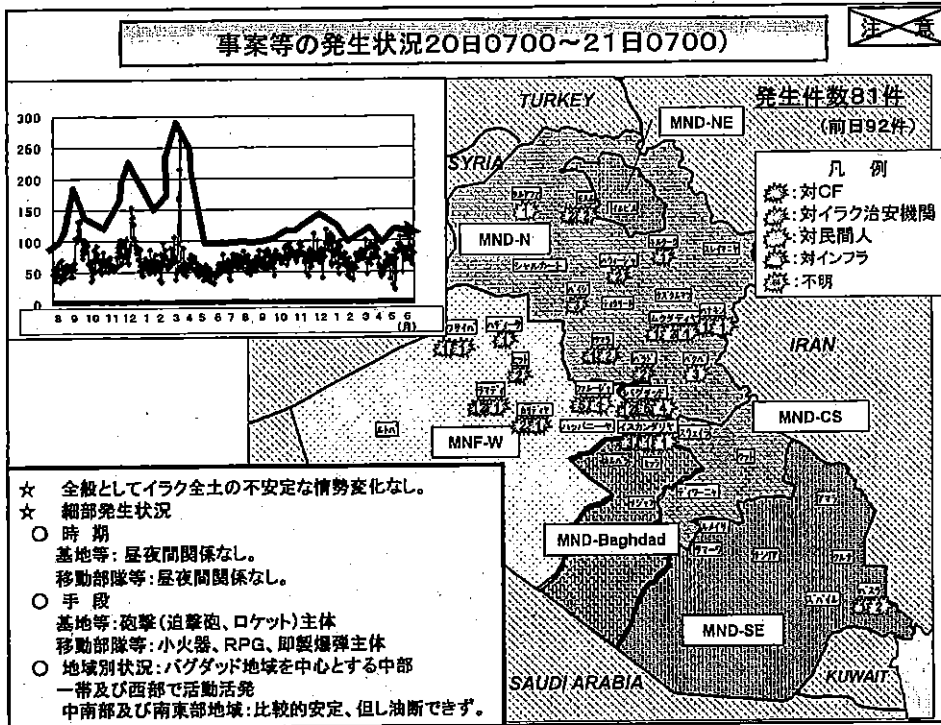
項 目	武 器						
	拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
IQ	サマーワ						
	シャイバ						
	バスラ						
	タリル						
	バクダット						
	計						
KW	キャンプVA						
	キャンプアリアジャン						
	計						
総 計							

装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	216	214	1	1	冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	部品待×1
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	1	0	制御装置不良	
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	20	27	48	レギュレータ等不良×20 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×2 エンジン不調×1	部品待×25
発動発電機(25kw)	87	39	11	17	ガバナ等不良×10 ノズル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	69	48	4	7	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1 ファン不良×1	部品待×4
発動発電機(180kw)	17	15	2	0	ガスケット損傷×1 エンジン不調×1	部品待×2
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良×1	後送待×1

装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考	
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視 装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							



6月5日、ディッカー県でのIED事案-1



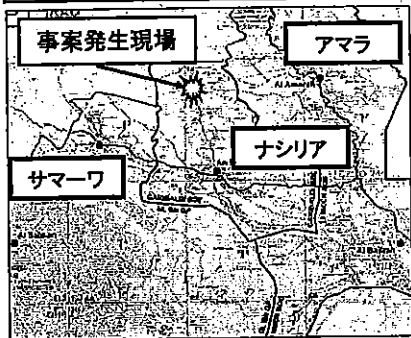
【概要】

○ 6月5日2135、ディッカー県北部の道路上において、[redacted]が、[redacted]の前衛としてアマラからバスラに向け車両4両で前進中、IEDによる伏撃を受け兵士1名死亡、4名負傷した。

なお、伏撃を受けた[redacted]は、爆破の約1時間前にアマラの[redacted]と合流のため爆破地点を通過していた。

【関連情報】

○本事案で使用されたIEDは、パンプ式赤外線センサで起爆するIEDの様様



事案発生現場



[redacted]

ディッカー県でのIED事案-2



爆発現場付近の状況

学生の死亡事故を追悼する看板
IED設置場所としての目印かどう
かは不明

← 約100km
ナシリア

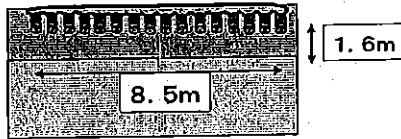
約10km
ディッカー県境 →

ディカー県でのIED事案-3

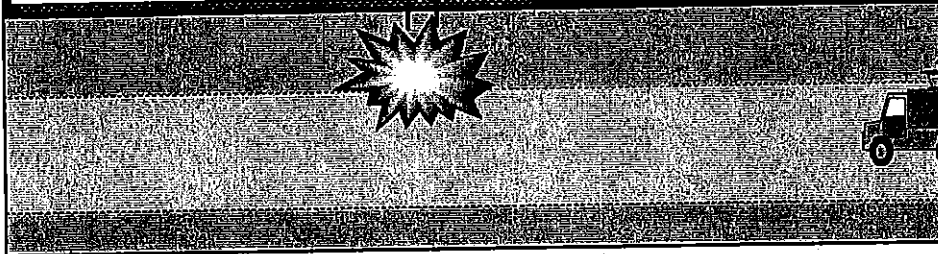


IEDについて

- 多連装EFP(Daisy Chain EFP)
14~16個の小型EFPを導爆線で接続
- 約50cm間隔で設置
- 起爆方式
リモコン起爆準備PIR(赤外線センサー)起爆



爆発現場の状況

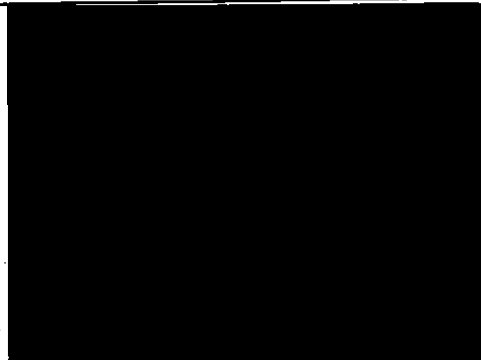


ディカー県でのIED事案-4



爆破を受けた[REDACTED]について

- 6~7人乗り小型車(陸自ジープより一回り大型)
装甲無し。後部乗員室及びドアは、視製
- [REDACTED]の前衛として4両編成で移動、先頭車両が被爆
- [REDACTED]が死亡
- 破片の貫通痕は、車体の上部に集中
- EFPの爆破威力が上に指向できるように角度を付け設置した可能性



ディカー県でのIED事案-5



イラク全土の全般情勢評価(6. 21)



(6月10日以降変更なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 ●シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 	<p>8/26追加</p> <p>8/8追加</p> <p>6/8修正</p>
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク移行政権)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィ勢力の共闘が変化する可能性 ●ザルカウィ関連勢力の活動が変化する可能性 ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 	<p>6/8修正</p> <p>6/8修正</p>
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル市民兵の再構築を企図 	6/8修正
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引) 	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価(6. 21)



(6月10日以降変更なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定だが、多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃が発生 ●バスラ県、メイサン県に所在した簡易爆弾技能者がディカー県に流入し、活動している可能性。さらにこの一部がムサンナ県にも流入した可能性 ●バスラ県、メイサン県、ディカー県に加えてムサンナ県においても簡易爆弾による攻撃が発生 ●バスラの不安定な治安情勢は継続する可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・多国籍師団(南東部)等が継続する治安維持作戦に対する反発から、簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性 	5/5修正 5/12修正 5/12修正 6/8修正
スンニ過激派 国際テロリスト	●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル派中央の意向に従わない一部の勢力が存在 ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性 	6/8修正 1/14追加
MSR/ASR	●簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生	6/8修正
タリルAB	●経路上の簡易爆弾や小火器射撃等、航空基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃の可能性	9/30追加

ムサンナ県の全般情勢評価(6. 21)-1



(6月19日以降変更なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●県の治安権限移譲に向けたマーリキー首相の発表(6月19日)を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活発化する可能性 ●イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 ●簡易爆弾技能者が流入したおそれがあり、今後、爆発成形弾等の高性能な簡易爆弾を使用した攻撃が行われる可能性 	6/19修正 6/8修正 5/12追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	●宿营地警備等の雇用の増大、復興支援活動の誘致を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	2/20修正
デモ関連	●治安機関によって当面のデモの発生は効果的に抑止されているが、燃料、電力、雇用状況の根本的な改善は図られておらず、また、治安機関が現在の高いオープンポを長期間継続することは困難であると見込まれるため、今後もデモや暴動が発生する可能性は継続	6/15修正

ムサンナ県の全般情勢評価(6. 21) - 2



(6月10日以降変更なし)

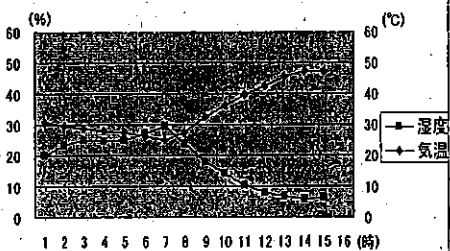
区 分	内 容	備 考
サドル派	●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 (サドル派民兵が支持獲得のため反多国籍軍姿勢を強める可能性)	1/14追加
	●サドル派民兵はねっかえりが宿営地に対する間接射撃等による攻撃を行う可能性	6/8修正
	●県統合オペレーション・センター及び同周辺での活動、'Cooperative Zone' への立入及び周辺部での活動に関連して、英豪軍及び日本隊等に対するRPGを含む直射火器や簡易爆弾による攻撃が行われる可能性	6/8修正
	●5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊の抗争に関連して、ナジャフのサドル事務所中央は、サマーフサドル事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性	6/4修正

現地の気象情報

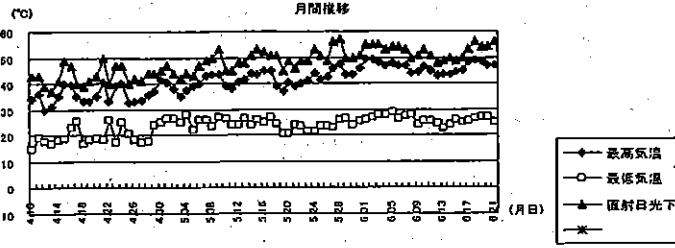
報告内容

明日の日の出 : 0555(サマータイム)
 明日の日の入 : 2007
 明日の月齢 : 26. 1
 明日の月出没 : (出22日0252~没23日1708)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高47. 1℃最低25. 0℃
 : 最高56℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 17. 8%

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



18年6月22日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	隊長の行動	0740 0750	統幕長報告	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 1000	TV会議	
		1000 1300	宿営地内勤務	
		1300 1310	活動命令(案)について(仰決)	
		1320 1500	式典参加及び記者会見	
		1500 1600	CIMIC会議	
		1605 1635	作戦会議	

D = 17/20

7/14-15- ---
 木2696703
 28.30.3 に後22

18年6月22日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2	業務支援隊長の行動 J2: バス移動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		別示	宿営地 発 タリルA B 着 タリルA B 発 バスラ 着	LAV(G) × 4 LAV(GJ) × 2 BWV(G) × 1 【バスラ移動】 C-130
J2x	業務支援隊副隊長の行動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 1000	TV会議	
		1000 1500	宿営地内勤務	
		1500 1600	CIMIC会議	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	

26 ~ 27 まで E7H
 英70722-70723
 ☆ 7/14-15- 宿営地
 ↓
 日本隊への申し入れ
 (7/14-15- 宿営地)

18年6月22日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J3	人員輸送	別示	宿营地 昇 タリルAB 着 タリルAB 昇 宿营地 着	LAV(G)×4 LAV(GJ)×2 HWV(G)×1
J201	QRF (A)			
J202	QRF (B)			
S6☆	役務要員配置	22日 1130～ 1930～ 23日 0530～	宿营地～運河警戒位置～宿营地	
S11☆	警 衛		警 衛	

18年6月22日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S12☆	浄水活動(運河)	0730～1000	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1
S13a	宿营地内工事、作業	0830～1600	宿营地放水	
S13b		0830～1600	ゴミ回収	
S13c		0830～1600	屎尿汲み取り	
S13d		0900～1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0830～1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13f		0900～1600	Tレックス	
S13g		0900～	コンボイ作業	
S15	群主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿营地内活動	
S16	空中監視活動	22日0830～ 23日0830	空中監視活動	

18年6月22日(木)の活動予定

クウェート分遣班、後送業務隊	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・サマーワ広報要員受入 ・本邦後送品後送準備 ・キャンプバーージャニアにおける業務調整 ・TV会議 ・博愛輸送支援 ・撤収関連業務 <ul style="list-style-type: none"> —RSU主力受入準備 —後送作業場等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議出席 ・空路輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

18.6.21
イラク復興支援群

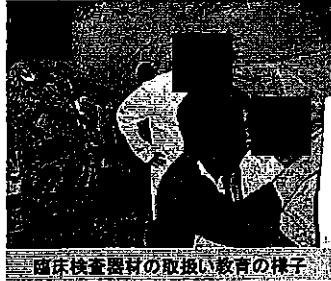
18年6月21日(水)の活動報告

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
 - 今日から撤収の段階に入る。計画は既にできているが、状況が変われば計画も変更するという性質のものである。状況によっては、大幅な変更を余儀なくされる場合もある。昨日も言ったが、初めての作戦であるので、色々な問題が起こってくると思うが、一番重要なことは、柔軟性である。状況に応じ柔軟に対応し、その時点で最良の方策を考えていくようにせよ。

作戦会議(6.21.16.05)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
 - 群2科長から撤収発表以降の省感見積の発表があったが、特に、部外からの陳情やクレーム等、部外とのトラブルが今後予想される。これらは迅速な対応が必要であるので、問題が大きくなる前に第1報して、情報の共有ができるよう留意せよ。

ムサンナ県技師に対する指導者養成教育



臨床検査器材の取扱い教育の様子



X線撮影要領の教育の様子

群長、防衛記者会に対する記者会見



記者会見の様子



記者会見の様子




美支隊長、ムサンナ県復興建設委員長(アルフート氏)と会談



美支隊長とアルフート氏



積極的な意見交換を行う様子

  <div style="text-align: center;"> <p>バグダッドLO日々業務報告(6月21日1830)</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div>	
区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーフに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーフ及びバスラは [redacted]、バグダッド及びモスルは [redacted]、ラマディは [redacted]
2 特記事項	[redacted]
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	

6月21日付JAM情報最新版(仮訳)

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

評価: [redacted]

[REDACTED]
JAM Update: 21 June

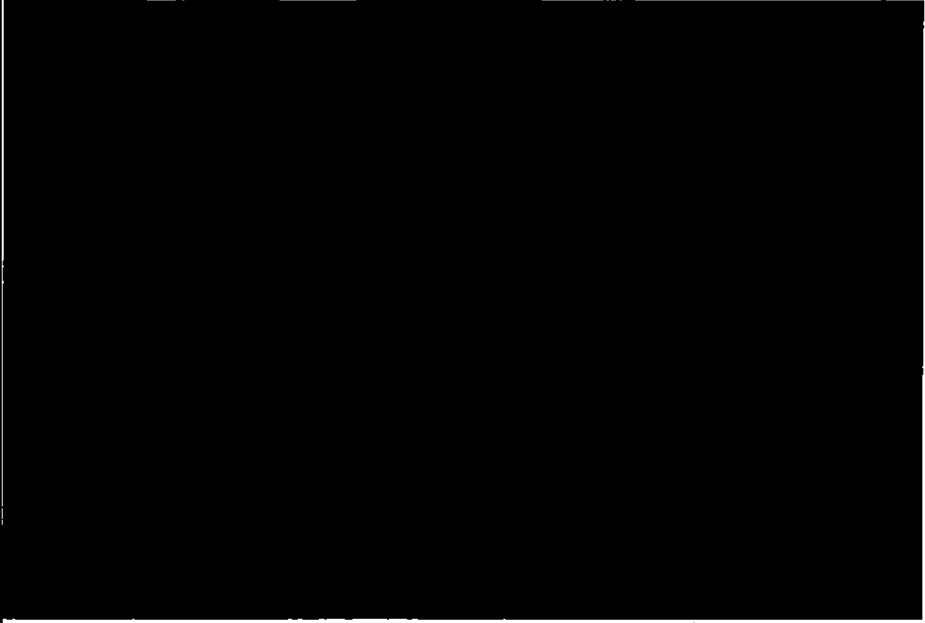
- [REDACTED]
- [REDACTED]
- [REDACTED]

[REDACTED]

別紙第2

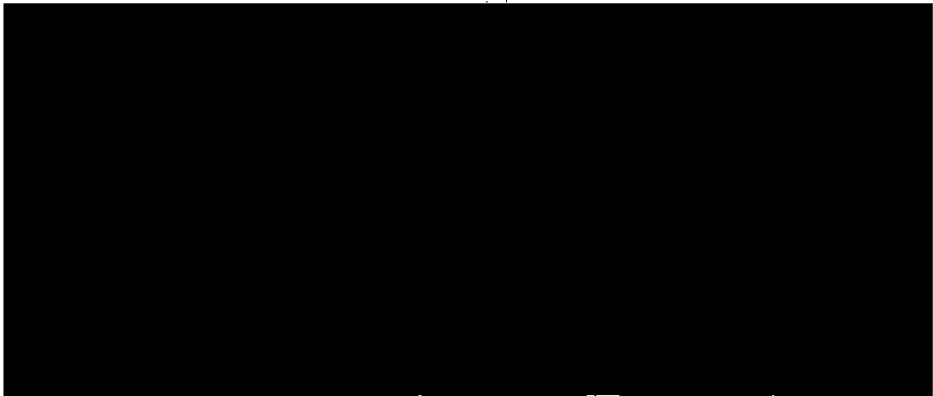
[REDACTED]

[REDACTED]
CURRENT SITUATION



別紙第3

[REDACTED]の動向(仮訳)



評価



OUTLOOK: [REDACTED]

バグダッド 日誌 (6月21日)







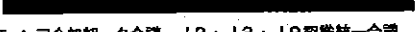
○ロス五輪柔道選手 米陸軍 [REDACTED] (安産名: 沖崎によくある名前)


昨日食堂(DFAC)で、ある日系の米陸軍大佐が私と [REDACTED] に話しかけてきた。「私は防研50期一般課程を卒業しました。」と完璧な日本語である。この [REDACTED] は北部方面総監部で米軍連絡官も努めた経験があり、自衛官がバグダッドで勤務しているのを見て、多少驚いた様子で、また饜かしそうに語りかけてきた。

一緒に食堂の席に着き食事をはじめたが、まず私の耳が潰れているのに気づいて、「柔道か、ラグビーをしていたのですか？」と質問された。「柔道です。」と答えると一気にうち解けた。 [REDACTED] はロス・アンジェルス・オリンピックで柔道65Kg以下級の米国代表で出場しており、国民栄誉賞の柔道・山下氏(ロス五輪金メダリスト)とも知り合いだそうだ。柔道選手現役当時は名門東海大学、明治大学や警視庁に何度も練習に行ったという。また防衛大学の柔道部OBについても何人も知っていた。特に北部方面総監部勤務当時の名前は忘れてしまったけれども、素晴らしい柔道家と良い酒飲み仲間だったという。恐らく師団長になっているはずだと言われ、思いつく名前を言ってみてくれという。「先輩？」と試みたが「違う」と言われ、「頭は、バーコードだ！」(本人のコメントのまま) すかさず「先輩」(すみません)と答えると「その通りだ！」と言う。

また9次群長の小野寺1佐とも米国ヤキマ演習場の調整をして良く知っていると言う。世界は本当に狭いものである。この [REDACTED] はキャンプ・ヴィクトリーから東15kmに位置するインターナショナル・ゾーンで勤務されている。昨日は会議参加のため偶然ここに来ていたそうだった。MNSTC (Multi-National Security Transition Corp) というイラク警察を育成する部署で勤務しており、バグダッドに到着して1ヶ月前が過ぎたという。派遣期間は1年だそうだった。今年の12月までにイラク警察が責任を果たせるまでに育成できないと「切腹」ものなのだと知っている。その仕草がまた堂に入って面白。お互いにすっかり意気投合し、時が経つのを忘れて話していると、食堂を管理している米陸軍軍曹が申し訳なきように「そろそろ食堂を閉める時間なのですが...」と指導されてしまった。

ともあれ人の縁の深さにつくづく感動し、また日本隊の素晴らしい理解者を得て勇気百倍である。

 バスラLO日々業務報告(6月21日1900)	
区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港   (警戒態勢) : 
2 特記事項	(1)  (2) 
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 :  (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9 図業統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況	

バスラ日誌 (6月21日) -148号-

1 J2 ASC 伍長・兵長の職務について

私が机をもらって勤務しているJ2ASCには、伍長・兵長が男女併せて約6名ほどいる。彼らは、普段ウオッチキーパー(当直)として勤務したり、重要度のあまり高くないレポート(分析、評価資料)を作成している。彼らの職務をみて違和感を感じていなかったが、ふと自衛隊の陸士の職務内容を調べてみるに、自衛隊の陸士と比較して彼らが高度な職務を遂行していることに気付いた。(もちろん自衛隊の陸士も戦闘員として高度な技能、技術を有しているが...)まず、司令部要員として特に情報正面において陸士が勤務していることは、ほとんど聞いたことが無い。部隊においても、2科、2係に陸士を配置してそれなりに責任のある仕事を持たせているということは寡聞であろう。おそらく、英軍が伍長・兵長にもある程度高度な職務を付与しているのも、情報職種として必要な人材を育成するには、時間を要するからであろう。また、それは情報という職種の特性によるものかもしれない。J2担当のLOとして、情報の処理には携わっていないが、情報資料を情報に転換しうる情報処理能力のある人材を育成するには、それ相応のノウハウと時間がかかることと情報が重要な戦力の一つであることをJ2に在籍して感じている。軍曹になることが彼らの目下の悩みであるのは、自衛隊と同じであるが...

2 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(6月21日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし: Threat Level
2 特記事項	粟支2科長等がキャンブスミッティを訪問、AMTG3S2・1QDGS2等と懇談を実施
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 RB沿いの不審物関連情報、キャンブスミッティに対するIDF攻撃事案関連情報、サマワ市内等の治安情勢 デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 J2関連、J9関連、明日以降の豪軍支援要請関連、日豪親善行事関連、CME関連、PDCC関連等 (3) 各種ミーティング等 英豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE3:英軍(小火器) 0700~1700

クウェート分遣班業務報告		18. 6. 21
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： <input type="checkbox"/> 人員・武器等： 異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告： 所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候： 晴れ <input type="checkbox"/> 気温： 0700 39°C(47°C) 1100 47°C(55°C) ()は直射日光	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける物品管理 <input type="checkbox"/> 会計交替検査	<input type="checkbox"/> 業務調整 <input type="checkbox"/> 6次業支隊先発要員のクウェート出国支援	
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> サマーワ広報要員受入 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける業務調整 <input type="checkbox"/> TV会議	<input type="checkbox"/> 弾薬輸送支援	
その他		

クウェートLO日々業務報告(6月21日1900)	
区 分	内 容
警戒態勢等	警戒レベル 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」(N/C)
特記事項	なし
本日の業務	大 使 館
	1 連絡調整等 (1) 視察者対応準備 (2) 情報要求対応 2 情報収集 情報資料 4件
	CFLCC
	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 2 情報収集
その他	なし